

飯豊町議会活性化調査検討特別委員会

検 討 結 果 報 告 書

平成29年3月

飯豊町議会活性化調査検討特別委員会報告

1. 設置目的

地方選挙、とりわけ地方議会選挙への関心の低さから、無投票当選が全国的に多い現状であり、また、一昨年に実施された当議会議員選挙においても無投票であった。

このことから、地方政治への関心を高め、地方選挙、地方議会の活性化について調査検討する。

2. 調査期間

平成27年12月15日から調査及び審査が終了するまでとする。

3. 委員会の構成

議長を除く全員9名で構成することとし、

委員長 嶋 貫 栄 助

副委員長 鈴木 敏 夫

を選任した。

なお、特別委員会の審査を効率的に進めるため、小委員会、公聴部会、調査部会を設置した。(◎：委員長、○：副委員長)

小委員会委員

◎嶋貫栄助、○鈴木敏夫、長沼桂子、山口文隆、古山繁巳

公聴部会委員

◎鈴木敏夫、○井上 南、長沼桂子、菅野富士雄、遠藤 忠

調査部会委員

◎嶋貫栄助、○山口文隆、高橋亨一、古山繁巳

4. 審査の経過について

(1) 審査の方法

設置目的を達成するため、小委員会、公聴部会、調査部会の3部門を設け、調査検討した。

(2) 委員会の開催状況

回数	年 月 日	審 査 内 容
第1回	平成27年12月15日	委員長・副委員長の選任
第2回	平成28年1月13日	今後の進め方について
第3回	平成28年4月27日	小委員会について 各部会の進捗状況について
第4回	平成29年2月2日	各部会の進捗状況について 今後の進め方について
第5回	平成29年3月1日	報告書について

(3) 小委員会の開催状況

回数	年 月 日	審 査 内 容
第1回	平成27年12月24日	今後の進め方について
第2回	平成28年1月8日	分科会の編成について 今後の進め方について
第3回	平成29年2月15日	県内町村議会の状況について
第4回	平成29年2月28日	報告書(案)の作成

(4) 公聴部会の開催状況

回数	年 月 日	審 査 内 容
第1回	平成28年1月21日	今後の進め方について
第2回	平成28年2月9日	対象者・協議項目・団体名・参集方法について
第3回	平成28年3月23日	公聴会の日程・内容等について
第4回	平成28年4月19日	公聴会の日程・内容等について

第5回	平成28年4月27日	公聴会の対象者名簿について 進捗状況について
第6回	平成28年5月10日	公聴会の対象者名簿について 女性層の公聴会について
第7回	平成28年5月17日	女性層公聴会の検証・反省について
第8回	平成28年7月25日	高齢者層・青年層公聴会の検証・反省について
第9回	平成28年8月29日	公聴会の報告書について
第10回	平成28年12月28日	報告書の取りまとめについて
第11回	平成29年1月13日	報告書の取りまとめについて 政策提言に向けて

【公聴会の開催状況】

対象者	年 月 日	内 容
女性層	平成28年5月14日	議会活動について 議会に期待することについて 議員のなり手不足について 女性議会が開催された場合について
高齢者層	平成28年7月6日	議会活動について 議会に期待することについて 議員のなり手不足について
成年層	平成28年7月6日	議会活動について 議会に期待することについて 議員のなり手不足について
20歳未満層	平成28年8月11日	選挙権を持った（持つ）ことについて 飯豊町の好きなおところ、今後期待すること

(4) 調査部会の開催状況

回数	年 月 日	審 査 内 容
第1回	平成28年1月21日	今後の進め方について

第2回	平成28年2月2日	調査項目・方法について
第3回	平成28年3月9日	調査項目・方法について
第4回	平成28年4月20日	これまでの経過について これからのスケジュールについて
第5回	平成28年4月27日	アンケート用封筒のレイアウトについて アンケート用紙の封入について
第6回	平成28年6月30日	進捗状況について
第7回	平成29年1月16日	調査結果の取りまとめについて 報告書の取りまとめについて
第8回	平成29年1月18日	調査結果の取りまとめについて 報告書の取りまとめについて
第9回	平成29年1月23日	調査結果の取りまとめについて 報告書の取りまとめについて
第10回	平成29年1月26日	調査結果の取りまとめについて 政策提言に向けて
第11回	平成29年1月31日	調査結果の取りまとめについて 政策提言に向けて

5. 調査の結果

小委員会 別紙（小委員会まとめ）のとおり
 公聴部会 別紙（公聴部会まとめ）のとおり
 調査部会 別紙（調査部会まとめ）のとおり

6. 総括

平成27年12月から5回の委員会及び小委員会を4回、公聴部会11回、公聴会4回、調査部会を11回開催した。各年代層から公聴する公聴部会、全戸にアンケート調査を依頼した調査部会、処遇改善等について調査した小委員会、置賜各市町議会から資料を提供いただき、それらを基に調査、検討を行なった。

町民からの意見として、「身近な議会」「わかりやすい議会」「開かれた議会」を目指して、町民の意見に耳を傾け、町民を代表し政策の決定、行政への監視と評価を行う。さらに、政策立案及び政策提言のために、議会議員は資質の向上を図りながら議会改革に取り組むべき、との意見が数多く出された。

飯豊町議会基本条例に基づき、「政策提言」や「みなさんと語る会」をさらに充実発展させ、町民の意見等を反映することが、町民の福祉向上、町政の発展はもとより、議会に対する信頼と関心をより一層進め、深めていくこととなる。

このことから、議会活動や議員活動の活性化につながり、議員のなり手不足をなくすためには、①人口が減っても議会活動は減らないことから、現在の議員定数を確保し、②兼業しなくても議員として生業、生活できる議員報酬にするため、報酬の改定を考慮すること。③費用弁償等を充実させ、現状に見合ったものにするため、日当等の処遇の改善を図り、④あらゆる機会を活用し、議員活動を魅力あるものと周知していくことが、現在の議員としての務めであると認識し、実践していかなければならない。

以上のことから、本委員会の設置目的であるところの、地方議会に関心を持ってもらうこと、議員のなり手不足に対応するためには、上記に基づき今後、なお一層の議会活性化を図っていく必要があると考える。

以上、飯豊町議会活性化調査検討特別委員会の報告といたします。

平成29年 3月14日

飯豊町議会活性化調査検討特別委員会
委員長 嶋貫栄助

飯豊町議会
議長 後藤 恵一郎 殿

飯豊町議会活性化調査検討特別委員会 小委員会 (まとめ)

小委員会は4回開催し、4項目について調査検討を行ない、下記のとおり取りまとめた。

記

①議員定数について

公聴部会、調査部会で多数の意見を伺ったところ、減らすべき、現状のまま、増やすべき、との様々な意見があった。

当委員会としては、従前のように人口減に合わせ削減すれば、常任委員会や議会が正常に機能しなくなることから、現在の議員定数を維持すべきである。

②議員報酬について

町民の意見としては、減らすべき、現状のまま、増やすべきとの意見があった。

置賜各市町の資料等を検討した結果、本町が一番低い現状であったことから、置賜他市町並みに引き上げる必要がある。また、期末手当の加算率も他市町並みにすべきである。

③費用弁償等について

置賜各市町では、日当が支給されていないのは本町のみという現状であり、他市町並みに処遇改善を図るべきである。

④議会の広報公聴活動について

「みなさんと語る会」を開催しているが、開催方法、対象者を再考し、意見の集約、議会活動の内容を広く伝えていく必要がある。

上記の4項目と併せ、議員年金制度がなくなったことも、議会に魅力がなくなり議員のなり手不足の要因の一つとなっている。

今後、年金制度については関係機関に陳情・要望活動を実施し、制度の復活を実現させなければならない。

議会議員は自らの資質向上のため、高い識見を養うよう精進していくことを一人ひとり自覚する必要がある。

以上、小委員会の報告とします。

公聴部会まとめ

目 次

女性層	9
高齢者層	11
成年層	13
20歳未満層	15
まとめ	17

飯豊町議会活性化調査検討特別委員会 公聴会（女性層）

- 開催日時 平成28年5月14日（土）9時30分
○開催場所 町民総合センター「あ～す」2階研修室
○出席者
嶋貫 栄助 特別委員長
鈴木 敏夫 公聴部会長
井上 南 〃 副部会長
遠藤 忠
菅野富士雄
長沼 桂子
○参加人数 25人
○職務出席者 佃 典子主査

特別委員会及び公聴部会の取り組みについて説明後、協議に入りました。
出された意見等については、下記のとおりです。

記

- ① 年4回の定例会のほか、議員としてどのような活動があるのか。
- ② 若い人にとって税金が高く大変なので、人口減少対策の取り組みとして、負担軽減を考えていないか。
- ③ 議員と町民の関係が離れており、議員活動が理解できていない。
町民の代表であるのはわかるが、議員と接する機会が少ないので、もう少し地域に入って話をしてほしい。
- ④ 特に若い人の話をたくさん聞いて、子育て世代をバックアップしてほしい。
それが町の活性化につながると思う。
- ⑤ 私たちの生活では聞いたりすることがない言葉が多い。
飯豊町には障がい児に関する施設がない。もっと障がい者を理解し、本人や家族をサポートしてほしい。
- ⑥ 飯豊町をどのようにしたいのか、一人ひとりに聞きたい。特に無投票だったために議員の考えがわからない。

- ⑦ 議会で「みなさんと語る会」を実施しているということだが、地区の役員だけが出席している。参加できない方々の声も拾ってほしい。アンケート調査の実施などはどうか。
- ⑧ 福島県から震災後に飯豊町に移り住み、保育料、医療費等、色々な子育て支援策を実施していることは大変ありがたい。
しかし、交通の便が悪く、高校生の通学に不便をきたしている。特に冬場は運休により電車が止まると、通学できなくなるか、家族の送迎になってしまう。バス等を運行するなどの対応をしてほしい。
- ⑨ 店舗が少なく、欲しいものが手に入らない。大型店があればと思う。その点、物産館がある程度救いとなっている。
子ども達が好きになる飯豊町にしてほしい。
- ⑩ 子どもを遊ばせる場所がない。集落の公民館に遊具を設置してほしい。
また、スポーツセンターについても、町民にもっと開放してほしい。
- ⑪ 子ども4人が米沢市内に通学していたが、電車の本数が少なく、6時台の電車に乗り遅れると8時台になってしまう。町からJRに要望してほしい。
- ⑫ 子どもが少なくなったのだから、なるべくスクールバスに乗れるようにしてほしい。
- ⑬ 高齢になって自動車の運転ができなくなり、生活も大変になる。老人アパート等が欲しい。
- ⑭ 今日参加し、議員活動に関心を持った。また、年代を超えた若い人の話や、高齢の方の考え方がわかった。こういう会を1年に2回くらい開催し、いろんな方々の話を聞いてほしい。参加してよかった。(数名より)
- ⑮ 議員報酬が安く生活できないのでは。
- ⑯ こういう公聴会を数多く開催し、町民の困っていること、考えていることを話し合い、理解を得れば議員になってもよいという人が出てくると思う。
本町の議員は高齢者が多い。若い人が議員をしながら生活できる環境をつくるべきでは。

飯豊町議会活性化調査検討特別委員会 公聴会（高齢者層）

- 開催日時 平成28年7月6日（水）9時30分
○開催場所 町民総合センター「あ～す」2階研修室
○出席者
 嶋貫 栄助 特別委員長
 鈴木 敏夫 公聴部会長
 井上 南 〃 副部会長
 遠藤 忠
 菅野富士雄
 長沼 桂子
○参加人数 21人
○職務出席者 横澤 吉和局長
 佃 典子主査

特別委員会及び公聴部会の取り組みについて説明後、協議に入りました。
出された意見等については、下記のとおりです。

記

- ① 議員のいない地区は、議会活動の情報が入りにくい。活動内容をその都度報告していただきたい。
- ② 公聴会は、成年・女性といった層でも行なったとのことだが、参加者をどのように選出したのか。
- ③ 町長は、施政方針で5つの種を蒔くとのこと。蒔けば芽が出て実が成ると思うが、議会はどのように対応するのか。
- ④ 置賜農業高等学校飯豊分校跡地等を活用した、人口増に結びつける魅力あるまちづくりが必要と思うが。
- ⑤ 議員のなり手不足は、仕事を辞めても生活できる議員の報酬でないことも一因。40代、50代の方も立候補できるような報酬にしていくべきである。
- ⑥ 他の仕事をしながら議員活動ができるので、議員報酬は増やさずに、定数を増やすように。

- ⑦ 教育内容も大きく変化する中で、地元に戻って生活したいと思うような教育も必要では。
- ⑧ 政務活動費はいくらか。領収書等を添付しての報告書は出しているのか。
- ⑨ 議員として人口減少問題をどうとらえているか。人口が少なければ報酬も上げられないのでは。
- ⑩ 地域に議員がない。選挙そのものを考える時期に来ているのでは。人口の少ない地区からも議員を選出できるように。

飯豊町議会活性化調査検討特別委員会 公聴会（成年層）

- 開催日時 平成28年7月6日（水）19時
○開催場所 町民総合センター「あ～す」2階研修室
○出席者
嶋貫 栄助 特別委員長
鈴木 敏夫 公聴部会長
井上 南 〃 副部会長
遠藤 忠
菅野富士雄
長沼 桂子
○参加人数 25人
○職務出席者 横澤 吉和局長
佃 典子主査

特別委員会及び公聴部会の取り組みについて説明後、協議に入りました。
出された意見等については、下記のとおりです。

記

- ① 議員のなり手不足は、議員の報酬が安いからではないか。現在の議員は、リタイヤ後の方々だから不満はないと思うが、子育て世代の30～40代は生活できない。選挙の時には経費もかかるのでは。
- ② 地域の小間使いでなく、町全体を考えられる人格者が議員になるべきと思うが、現実には地域の代弁者であるから魅力がないのではないか。
- ③ 人口減少の中、議員の数を減らすべき。8人ぐらいがよいのでは。そうすれば議員報酬も上げられるのでは。
- ④ 人口減少に歯止めをかけるには、女性、若い人が必要。議会でも女性の話を聞く場を設けるべき。
- ⑤ 行政は、公平、公正などと言っているが、とびぬけた人、突き抜けた人を優遇して、活躍できるように、町を挙げて応援してほしい。

- ⑥ 高円寺のアンテナショップの直接販売を利用し、町をPRして結婚に結びつく人が出ればと思う。
- ⑦ 「議会だより」をもっと分かり易くしてほしいし、傍聴に行って聞いたことと「議会だより」の内容が違っていた。

飯豊町議会活性化調査検討特別委員会 公聴会（20歳未満層）

- 開催日時 平成28年8月11日（木）10時
○開催場所 中部地区公民館 視聴覚室
○出席者
鳴貫 栄助 特別委員長
鈴木 敏夫 公聴部会長
井上 南 〃 副部会長
遠藤 忠
菅野富士雄
長沼 桂子
○参加人数 4人
○職務出席者 横澤 吉和局長
佃 典子主査

特別委員会及び公聴部会の取り組みについて説明後、協議に入りました。
出された意見等については、下記のとおりです。

記

- ① 参議院選挙で投票したが、不在者投票の手続きが難しかった。
- ② 住所が山形県内にあり、投票した人は学生寮の中でも40人中1人だけだったようです。手続きが大変だったようです
- ③ 高校生で選挙権がある人は、顔を見たことがある人、名前を知っていた人に投票したとのことで、政策などは理解せずに投票したとのことです。
- ④ 選挙権の付与は、プラスにとらえずにマイナスにとらえる若者が多いと思う。
- ⑤ 秋に町長選挙があるが、どれくらいの若者が知っているのか疑問。
- ⑥ 議員のなり手不足については、親には議員になるよう勧められそうにない。今日参加して、平均年齢が高く、危機感を感じる。

【町の良いところ、期待するところ】

- ⑦ マスコミ等では、町民の温かいところが注目されている。飯豊町に来ないと感じられないものをアピールしたい。
- ⑧ 学校帰りに「お帰り」と声を掛けられていた。東京に出て「人の繋がりが大切」と感じている。
- ⑨ 地域の仲の良さがいいところ。いろんな人に声をかけていただいている。
- ⑩ 町に戻っても、自分のなりたい職業に就く場所がない。
- ⑪ 移動手段に問題がある。障がいがあれば、さらに大きな問題で、交通手段等の整備が必要では。
- ⑫ ネット社会が若者に浸透している現状で、飯豊町を知ってもらうには、ネットを有効に活用しては。

飯豊町議会活性化調査検討特別委員会 公聴部会（まとめ）

公聴部会は、4回に分け、幅広い年代層や男女を問わずに公聴会を開催しました。

町政に対する意見・要望等が数多く出され、私たちが把握していないことが多々ありました。

今まで「みなさんと語る会」を開催していたことを大部分の方が知らなかったし、知っていても地域の有識者の会議と思われていました。

「今回、こうして議員と話すことができ、活動の内容や大変さがわかった」など、たくさんの参加者からの話を聞くことができ、これだけでも意義のある公聴会であったと感じました。

議員のなり手不足については、報酬が安く、子育て中の若い人は議員になりにくくてもなれない。福利厚生面も含め、改善を図るべきだという声がありました。

また、人口が減っているのだから、議員の数も8人に減らし、報酬をアップするべきだという意見なども出されました。

この度の公聴会で出された意見や要望をきっちり受け止めると同時に、幅広い町民の方々の声を聞き、議会活動、議員活動に活かしていけば、必ず議会に関心を持っていただけるものと確信しました。

今後、このような会議を年に数回開催することと、今までの「みなさんと語る会」の持ち方についても再考の必要性を感じました。

議員に“なってみたい”、“なりたい”という人を育てていく責務を認識し、議員活動を展開すべきと考えます。

以上、公聴部会の報告とします。

調査部会まとめ

目 次

結 果	19～32
まとめ	33

飯豊町議会に関する町民アンケート 結果報告書

調査方法

1. 調査地域
飯豊町全域
2. 調査対象者
町内全世帯にアンケート用紙2枚を同封し、18歳以上の人
3. 調査期間
平成28年8月1日～8月31日
4. 調査方法
調査表を部落長等さんにより、回覧配布、郵送回収

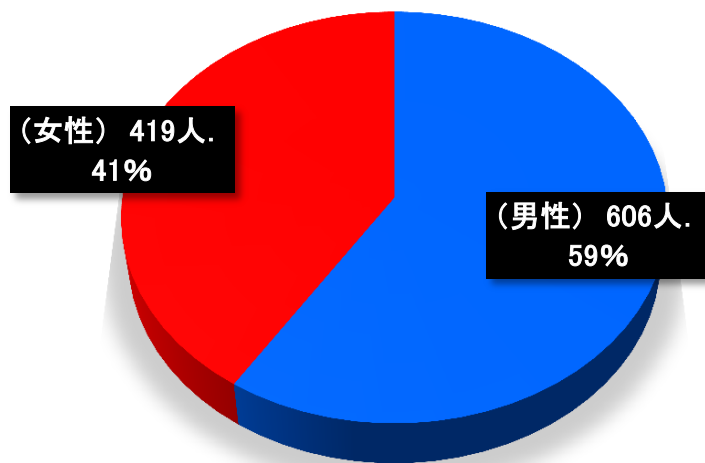
回収結果

町内全世帯に配布させていただき、1,101人の方から回答を得ました。

集計結果

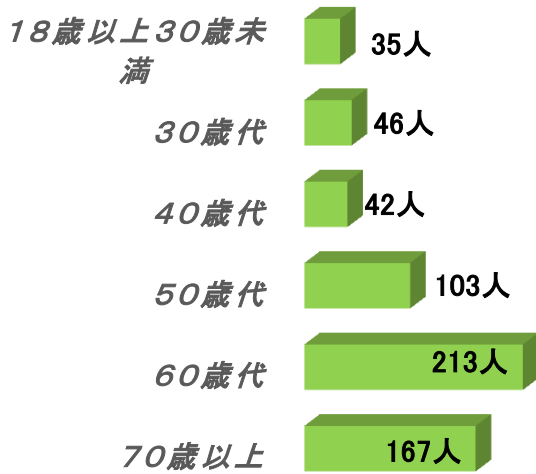
問.1 あなたの性別と年代を教えてください。(回答者数 1,025人)

男性	606人	59%
女性	419人	41%



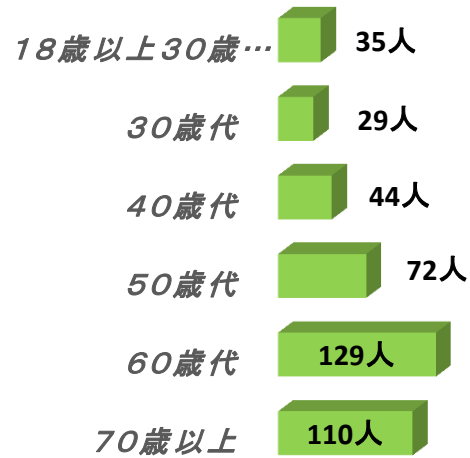
男性年齢別回答者数

606人



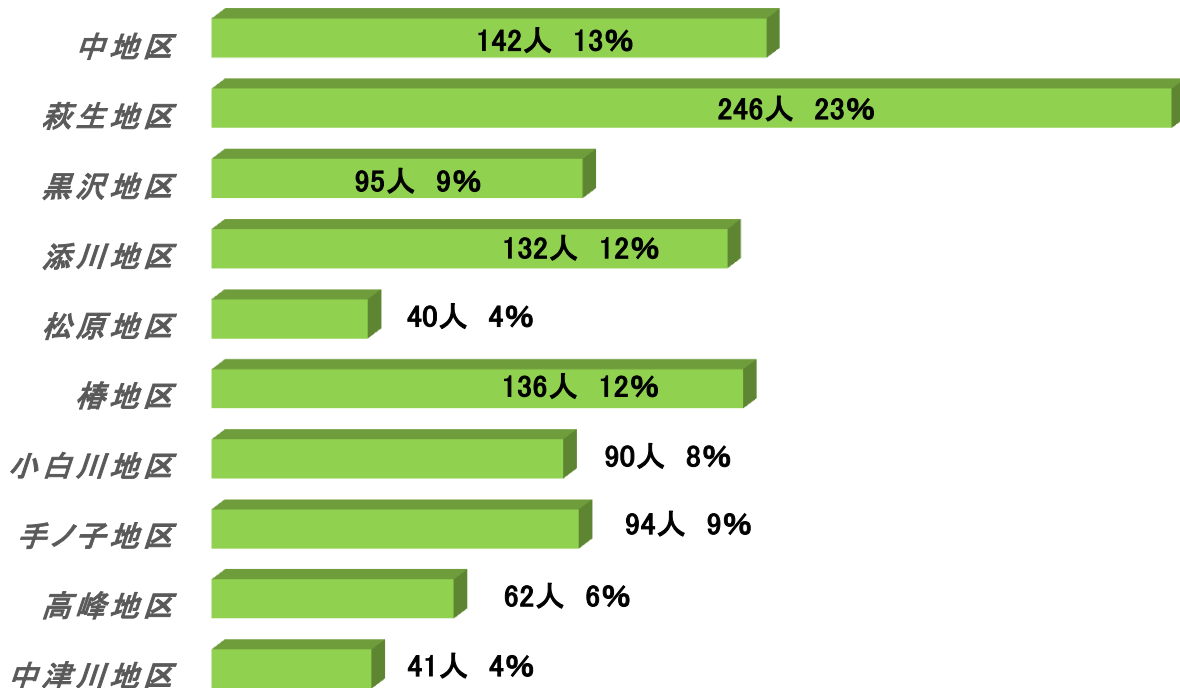
女性年齢別回答者数

419人



回答者の性別は、「男性」が606人. 59%、「女性」が、419人. 41%となりました。回答者数の年齢は、男女とも「60歳代」が最も多く、「70歳代」「50歳代」、「男性」は、「30歳代」「40歳代」と続き、「女性」は、「40歳代」「30歳代」となりました。

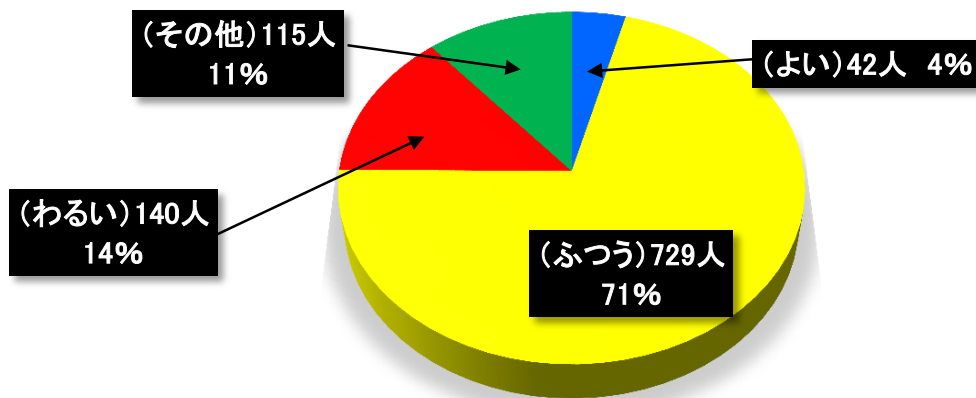
問.2 あなたの住まいをおしえてください。(回答者数 1,078人)



「萩生地区」が246人. 23%で最も多く、次いで「中地区」142人. 13%、「椿地区」「添川地区」等々と続いています。

問.3 あなたは議会活動に対してどのような印象をお持ちですか。

(回答者数 1,026人)



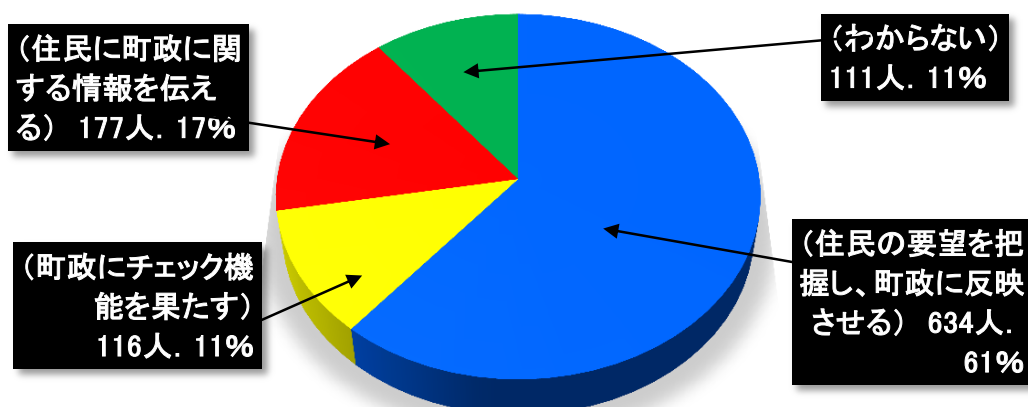
「よい」「ふつう」が771人、75%に対し、「わるい」「その他」の合計が255人、25%で、議会活動については、おおむね良いとの回答でした。

主な意見（抜粋）

- ・議会活動が見えず評価のしようがない。
- ・よくわからない。
- ・それなりに皆さん地区のために働いている感じがする。
- ・一生懸命取り組んでいる。
- ・議員は一致団結し、住み良い町づくりに取り組んでほしい。
- ・特に目立つ印象がない。
- ・活動内容が「議会だより」でしかわからないから。
- ・町の問題に前向きに取り組んでいると思う。
- ・少ない報酬で大変だと思う。

問.4 議会議員にもっとも期待する役割について、どのようにお考えですか。

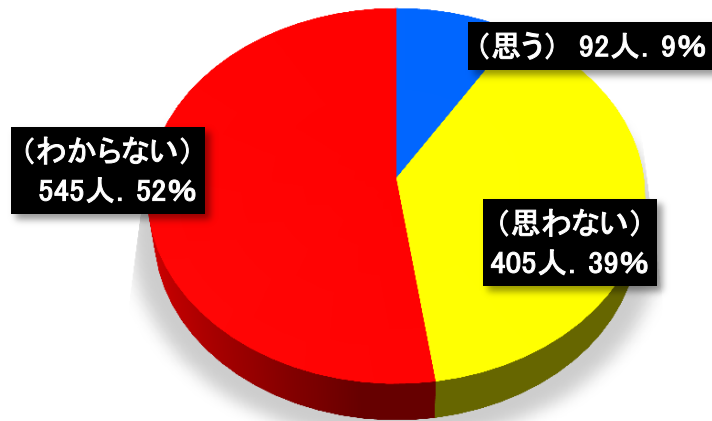
(回答者数 1,038人)



「住民の要望を把握し、町政に反映させる」が634人、61%と最も多く、次いで「住民に町政に関する情報を伝える」が177人、17%、「町政へのチェック機能を果たす」「わからない」の順でした。

問.5 あなたのご意見は、本町議会に反映されていると思います。

(回答者数 1,042人)



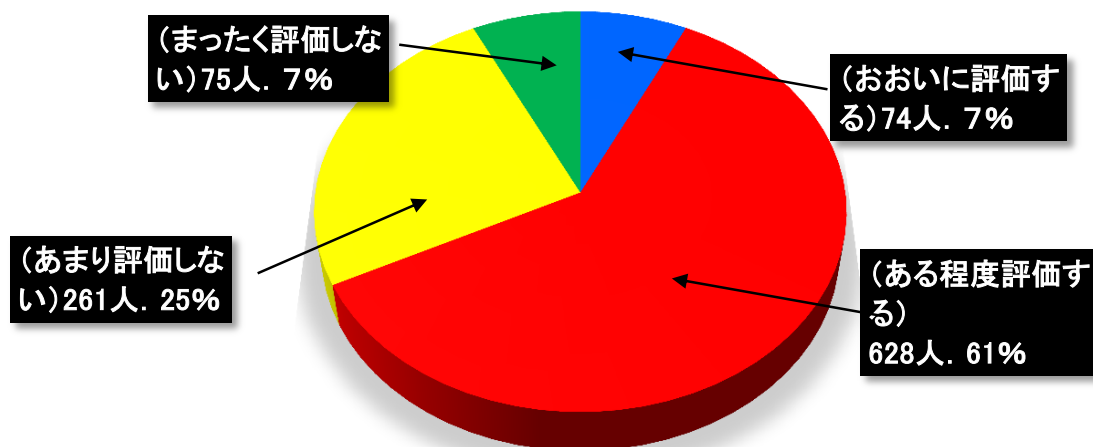
「わからない」が545人、52%と最も多く、次いで「思わない」が405人、39%、「思う」92人、9%でした。

主な意見（抜粋）

- ・議員の考えだけで、町民の意見は反映されていない。
- ・意見をいうチャンスがない。意見をアンケートで吸い上げて！
- ・少しでも私達の意見に取り組んでほしい。
- ・意見を述べていないので反映されていないと思います。主婦の日頃の問題点や、疑問点などを簡単な方法で取りあげられるようにしてもらいたい。
- ・要望してもなかなか返答が来ない。
- ・ほぼ反映されていると思います。
- ・選挙の時以外は何もない。
- ・議員と話す機会がないから。

問.6 議会では、「会議は原則公開する」「意見交換会を行なう」など、議会改革に取り組んで来ましたが、改革をどのように評価していますか。

(回答者数 1,038人)

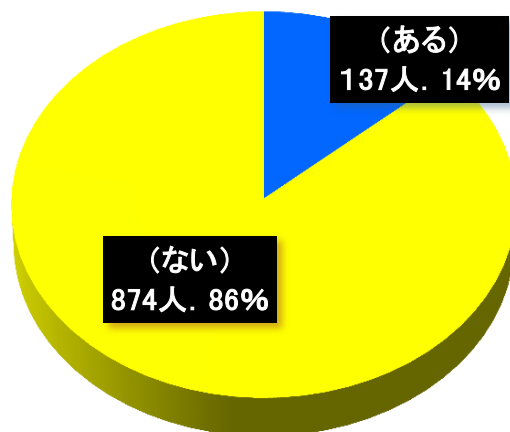


「おおいに評価する」「ある程度評価する」が702人、68%に対し、「まったく評価しない」「あまり評価しない」が336人、32%でした。

主な意見（抜粋）

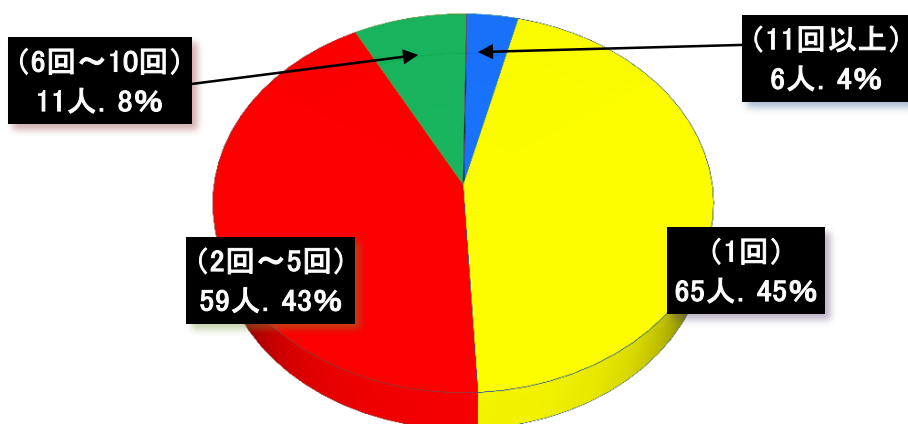
- ・ほぼ反映されていると思います。
- ・まだ改革と呼ばれるまでは、熟していない感じがする。
- ・若い世代が興味を持つ活動をしてほしい。
- ・改革の内容が具体的にわからない。
- ・公開したり、意見を交換しあうことはいいことだと思う。
- ・議会改革に取り組んでいることについては、大変よいと思います。ただ、残念なのは若い人の参加が少ないことと、参加できる環境も整えてほしい。
- ・会議の公開や意見交換会（みなさんと語る会）は、会を重ねるごとに、内容が豊かになってきている。できれば各課題ごとの公開や、交換会も期待したい。
- ・意見交換会や会議にも参加したことがないのでよくわからない。
- ・会議の公開は当然ですが、高齢者は議会報で知るだけです。

問.7 議場で傍聴されたことはありますか。（回答者数 1,011人）



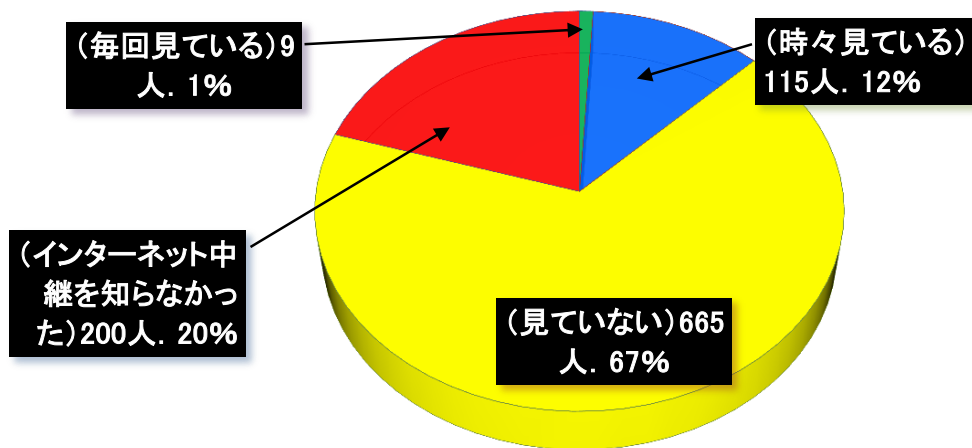
「ない」が、874人、86%で、「ある」が137人、14%でした。

問.8 傍聴された回数は何回ですか。（回答者数 137人）



「1回」が65人と最も多く、次いで「2～5回」が59人、「6～10回」「11回以上」でした。

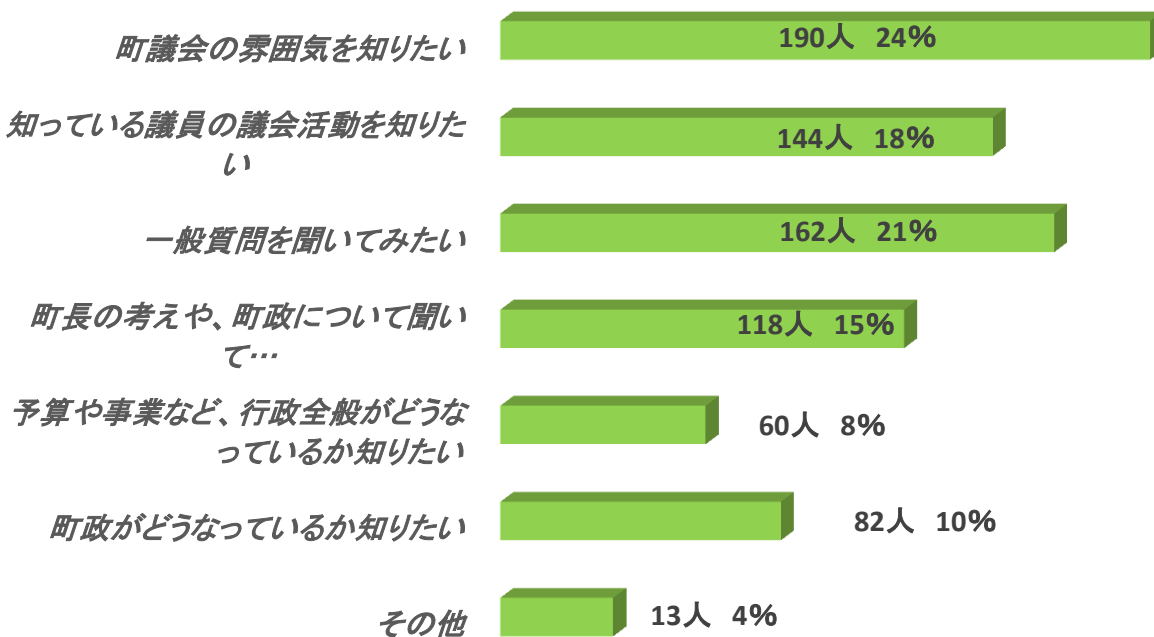
問.9 インターネット中継を、見たことがありますか。(回答者数 989人)



「見ていない」が665人、67%と最も多く、次いで「インターネット中継を知らなかった」が200人、20%、「時々見ている」「毎回見ている」でした。

問.10 傍聴及び、インターネット中継に、どのような興味をお持ちですか。

(回答者数 789人)

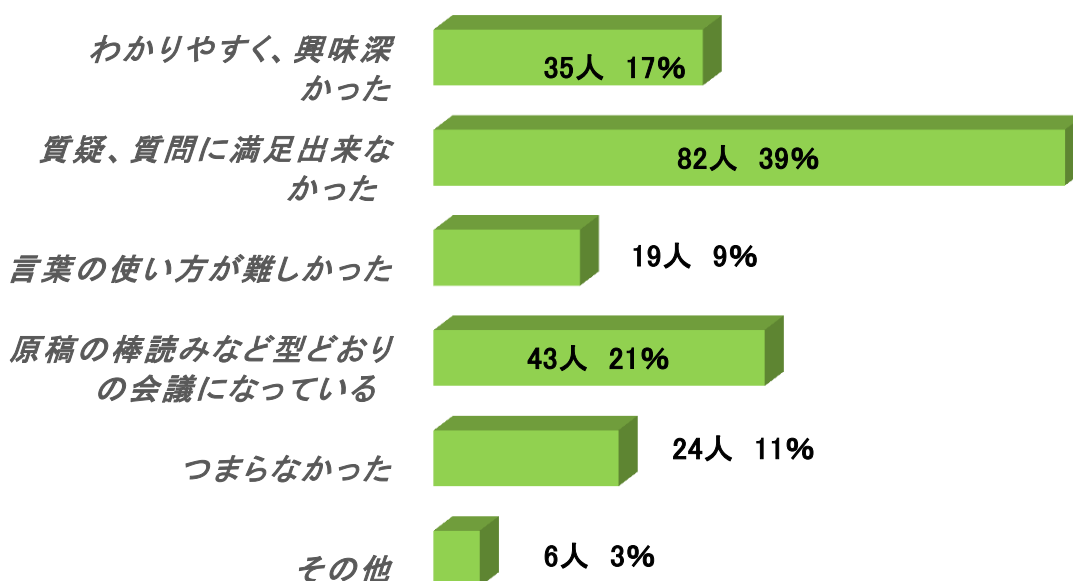


「町議会の雰囲気を知りたい」が190人、24%と最も多く、次いで「一般質問を聞いてみたい」が162人、21%、「知っている議員の議会活動を知りたい」が144人、18%、「町長の考えや、町政について聞いて見たい」「町政がどうなっているか知りたい」「予算や事業など、行政全般がどうなっているか知りたい」「その他」でした。

主な意見（抜粋）

- ・あまり興味がない。（多数の意見ありました。）
- ・一般質問者が少ないので、もっと多くの方が質問してください。
- ・議員の態度を見たい。
- ・専門用語ばかりで興味がわからない。
- ・1回でも議会傍聴したいが、仕事の都合で傍聴できない。
- ・インターネット中継を知らなかったので、今後見たいと思います。
- ・インターネットがない。

問.11 傍聴された方、インターネット中継を見られた方にお尋ねします。そのときの印象はどうでしたか。（複数回答可能）（回答者数209人）



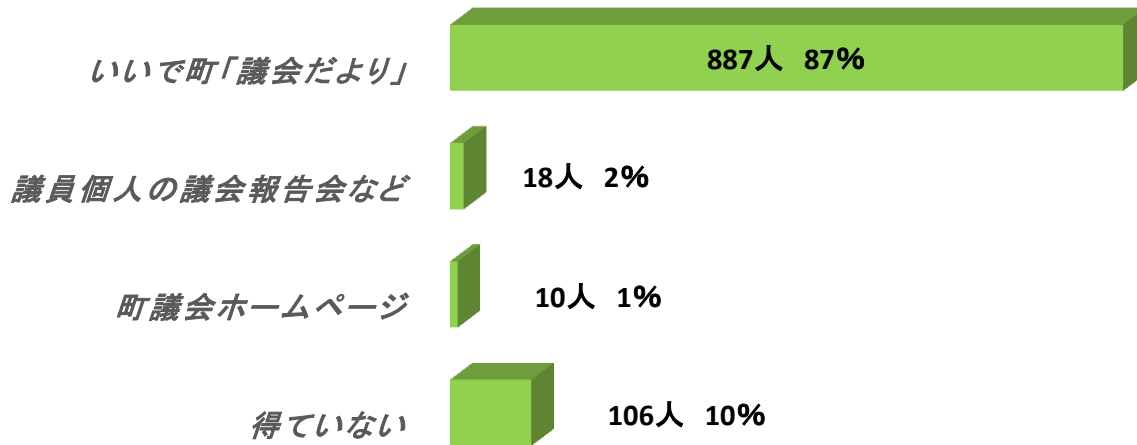
「質疑、質問に満足できなかった」が82人、39%と最も多く、次いで「原稿の棒読みなど型どおりの会議になっている」が43人、21%、「わかりやすく興味深かった」が35人、17%、「つまらなかった」「言葉の使い方が難しかった」「その他」でした。

主な意見（抜粋）

- ・激論がない。迫力不足。
- ・傍聴する住民がいると議員の緊張が高まり、活発な意見が出て良いのでは。
- ・議員の質問が町側の説明に第2・第3のキャッチボール的な質疑応答があまり見られない。
- ・質問に対して最後まで正しい回答が得られないのに、次の議題に移るのはおかし。
- ・難しく理解できない言葉がある。
- ・時々画面が止まっている印象（少々お待ちください）
- ・どうでもいい質問ばかりで時間のむだ。
- ・仕事が忙しいので、夜インターネットをみています。町政の現状をしりたいから。

問.12 あなたは議会に関する情報をどのようにして得ていますか。

(回答者数 1,021人)

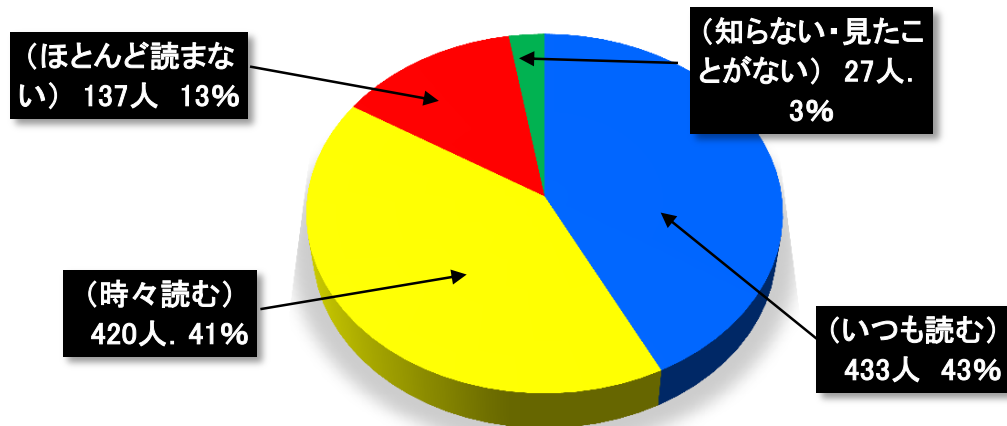


「いいで町議会だより」が877人、87%と最も多く、次いで「得ていない」が106人、10%、「議員個人の議会報告会など」「町議会ホームページなど」「その他」でした。

主な意見（抜粋）

- ・「議会だより」をファイルに保存しています。
- ・「議会だより」と傍聴された方より話を聞く。
- ・地域の報告会や「議会だより」などで。
- ・地域の集会や議員後援会等で聞く。
- ・年一回女性の（年齢問わず）集会をお願いします。

問.13 飯豊町「議会だより」（年4回発行）を読まれたことがありますか。また、「議会だより」へのご意見をうかがいます。（回答者数 1,017人）

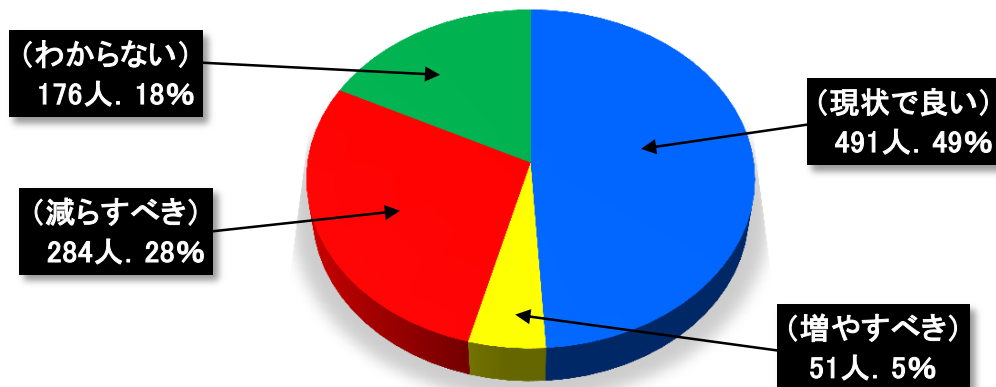


「いつも読む」が433人、43%と最も多く、次いで「時々読む」が420人、41%、「ほとんど読まない」「知らない・見たことがない」でした。

主な意見（抜粋）

- ・以前より読みやすくなった。
- ・各議員からの質問に対し担当課から回答されていますが、その結果がどうなったのかが、よくわからないので結果も報告してほしい。
- ・町報いいとあまり変わらない。
- ・以前は町政に関心がなかったが、町内の動向が気になり最近から読んでいます。
- ・町政や議会の動きがわかるので毎回読む。
- ・質問はよくするが実効性が見えない。
- ・もう少し詳しく当局の回答の記載を。

問. 14 町議会の現在の定数は10名ですが、どう思いますか。（回答者数 1,002人）



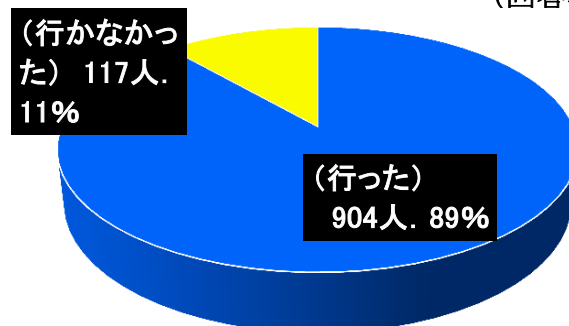
「増やすべき」「現状で良い」が542人、54%と約半数に対し、「減らすべき」「わから

主な意見（抜粋）

- ・人口に対して10名は多すぎるのでは。
- ・人口から考えるとちょうどよいと思う。
- ・人口が年々減少しているので10名いらぬ。8名くらいでよい。
- ・費用も増えると思うが、多くの意見を聞くため2、3人多くても。
- ・住民1000人に1人で良いと思う。
- ・これ以上減ったら、議会としての機能が失われる。

問. 15 あなたは平成23年の町議会選挙の投票に行きましたか。

（回答者数 1,021人）

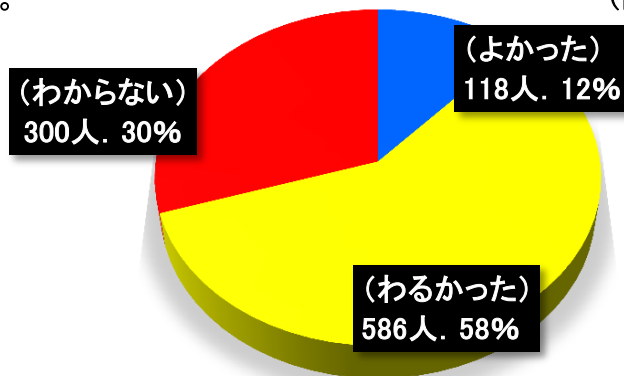


「行った」が904人、89%、「行かなかった（選挙権がなかった・他市町村に住んでいた等を含む）」117人、11%でした。

主な意見（抜粋）

- ・一番身近な選挙だから。
- ・町政の舵取りする重要な選挙だから。
- ・必ず行っている。
- ・だれが議員になっても同じだから行かない。
- ・町民として当然の義務であり、選んだ議員に精一杯努めてほしいから。

問. 16 あなたは、昨年8月任期満了の伴う町議会選挙が、無投票になったことをどう
思いますか。 (回答者数 1,004人)

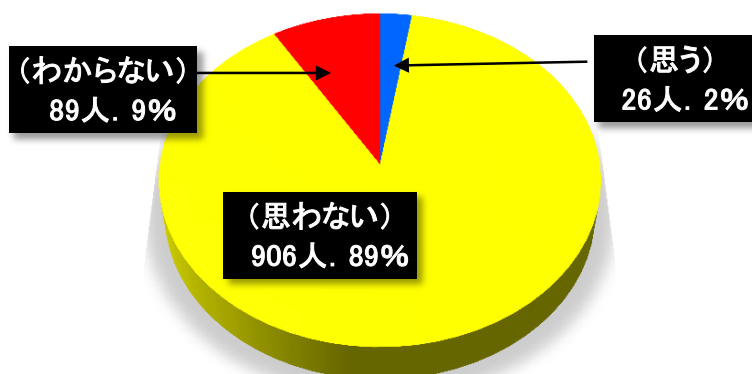


「わかった」が586人、58%、次いで「わからない」が300人、30%、「良かった」が118人、12%でした。

主な理由（抜粋）

- ・町民の代表は選挙で選ぶべきです。町民の目が光らないし、議員になってもらっては困る人もいるので選挙で選ぶべき。なりたい人よりさせたい人、好ましい人を。
- ・町政に興味がないと言うことが問題。
- ・議員を選択できなかった。
- ・町が衰退するのではと心配。
- ・活気がない町になってしまう。俺がやってやる、俺が町を変えてやると思うような人がいないのは残念。

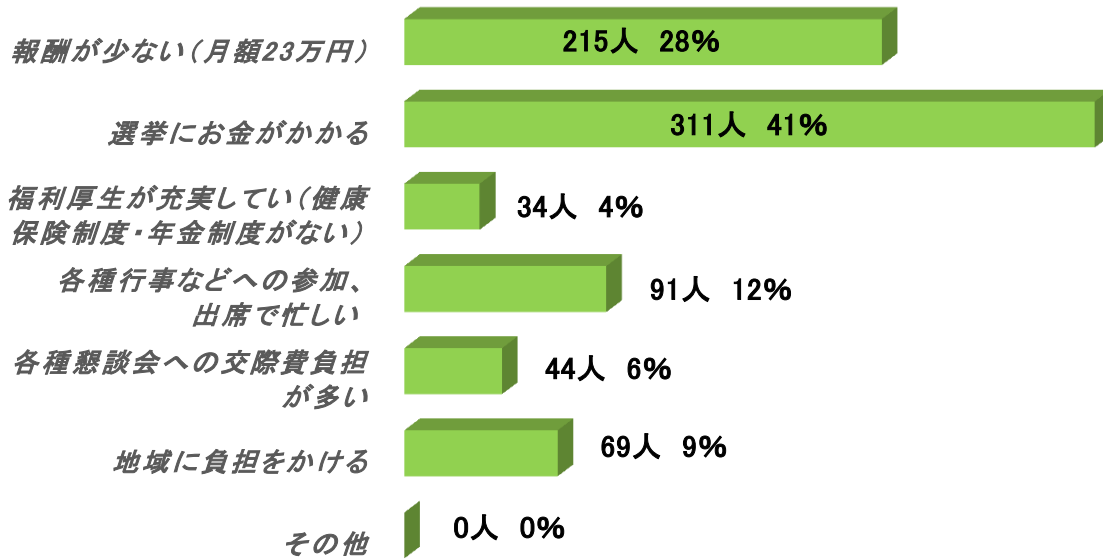
問. 17 あなたは町議会議員に立候補したいと思いますか。 (回答者数 1,021人)



「わからない」「思わない」が、995人、98%と大半の方が立候補しないとの結果ですが、「思う」が26人、2%の方が立候補したいとおもうとの回答でした。

問.18 あなたは、議員の立候補者が少ない理由は何だと思いますか。（複数回答可）

（回答者数 764人）

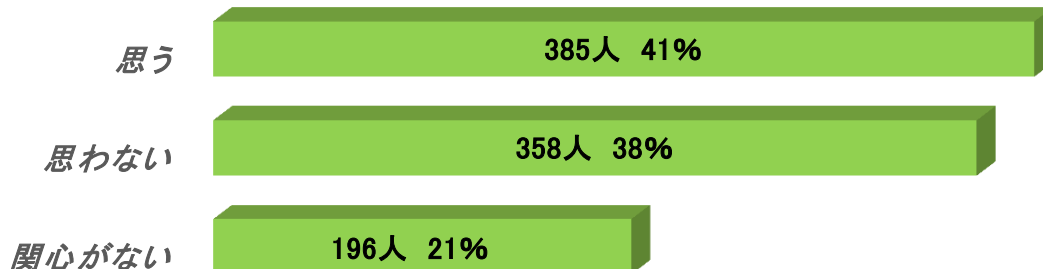


「選挙にお金がかかる」が311人、41%と最も多く、次いで「報酬が少ない」が215人、28%、「各種行事などへの参加出席で忙しい」「地域に負担をかける」でした。

主な意見（抜粋）

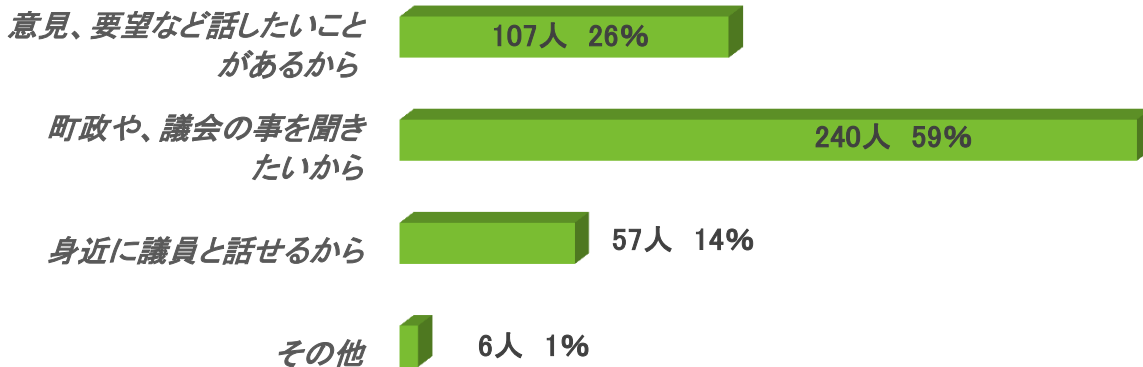
- ・町を今後よくする旨の考えをする人材がない。
- ・家族に負担がかかるから。
- ・町政にあまり関心がないから。
- ・自分の生活にいっぱいいっぱいなのは。
- ・議員活動一本に専念できる報酬があれば、質のよい候補者が出てくるはず。生活保障を考慮すべきかな？

問.19 議会では、議員が各地に出向き、議会の経過や結果を説明し、質疑応答や意見交換を行う「みなさんと語る会」を毎年行っています。これからも、みなさんの意見を頂きながら町政に反映させるため、毎年開催を考えています。あなたは参加したいと思いますか。（回答者数 939人）



「思わない」「関心がない」が431人、59%、「思う」が385人、41%、約4割の方から参加したいとの回答でした。

問. 20 「みなさんと語る会」に参加したいと「思う」理由を伺います。
(回答者数 410人)

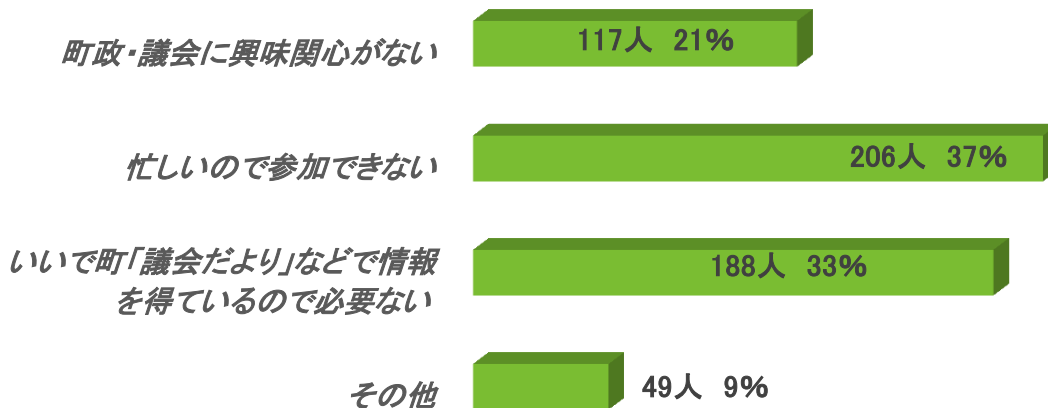


「町政や、議会の事が聞きたいから」が240人、59%と最も多く、次いで「意見要望など話したいことがあるから」「身近に議員と話せるから」「その他」でした。

主な理由（抜粋）

- ・地区の状況を知ってもらいたいし、町の様子も聞きたい。ほかの町の良さなども聞きたい。
- ・議員と会う時間がないので参加してみたい。
- ・町で何が問題になっているか、議員に聞きたいから。
- ・町民に何を聞かれても、答弁出来るようもっと広く勉強してほしい。
- ・議員の皆さんの性格・性質・能力等々を知ることが出来るから。
- ・町政に意見を反映させてもらいたいから

問. 21 「みなさんと語る会」に、参加したいと「思わない」「関心がない」理由を伺います。
(回答者数 560人)



「忙しいので参加できない」が206人、37%で最も多く、次いで「いいで町議会だよりなどで情報を得ているので必要ない」「町政・議会に興味関心がない」「その他」でした。

主な意見「抜粋」

- ・町民それぞれに興味・関心事が違うのだから、町政のどの項目について語る会なのか、的を絞ってもらえると時間をつくって参加しようという気持ちになるのかもしれない。
- ・議員に期待していないから。
- ・語った後に何も進展しないことが多すぎる。行動と実行がほしい。
- ・高齢なので参加は難しい。
- ・実行できない議員と話してもムダ。
- ・もっと町当局にかみつくぐらいの議員でないと、話しても面白くない。
- ・形式だけの会だから。

問. 22 本町議会に対するご意見、ご要望がありましたら教えてください。

- ・子育てしやすい環境を作って頂き本当に感謝している。私は、町外から引っ越してきましたが、この町に触れ生活し、一生住んでいたいと強く思いました。ただ、一生住める土地がない。いま、宅地が欲しいと思う人は周りに多くいる。
- ・これからも町を良くするために頑張ってもらいたい。各世代からの声を聴いて欲しい。
- ・議会傍聴を試みたいと思うのですが、平日・日中の議会のため、なんとなく敷居が高い気がして仕事を休んでまで行けない。もっと気楽に傍聴できたらと思う。
- ・町民全員でつくる町にして欲しい。
- ・議員は行政に対して単なる質問のみで終わっている様子がうかがえる。自分の意見や裏付け、対策を示して議会に臨むべきである。総じて議会人としてのレベルが低く勉強もしていないのでは。
- ・常に新しさ、スピード、古き良きものの保存と、人を育て集まる議会で頑張れ。
- ・町長に負けないよう勉強してほしい。もっとも中身の濃い質問をしてほしい。議会の中はあまりにも静か過ぎると感じます。色々と町には課題があります。町政の発展のために働いてほしいです。税金の無駄遣いにならないように。
- ・町民になって日が浅いので、議会のことはまったくわかりません。引っ越し手続きで何度か役場にお邪魔しましたが、庁舎の場所・建物の構造が高齢者には大変です。また、職員の対応が少し悪いような気がします。
- ・各議員とも、真面目に職務を果たしておられると思いますが、飯豊町内はもちろん、近隣市町の質問があったときには（日常的）ある程度の情報が、聞けるようお願いしたい。
- ・少子高齢化、人口減少しても若い人が定住できる町づくりの基盤を作ってほしい。国から指示された施策に従ってばかりでなく、農業の町として「このようにすれば成功できる」という提案ができるように情報・施策を発信してほしい。
- ・「みなさんと語る会」や「議会だより」など、やっていることはとてもよいことだと思いますが、町民の意見を聞いて飯豊町の良さを広めたり、町自体を豊かにするためには、ひとつひとつ小さな意見も拾えるような方々がいてくれたらと思います。よい意見を持っている方々がたくさんいると思います。
- ・町民の話をもっと真剣に聞いてほしい。空き家問題も深刻ですので、早めに対策をお願いします。
- ・町の将来をどうしていくのか。道筋を話し合ってもらいたい。在宅・地域での介護についてなど。
- ・これからも町を良くするために頑張ってもらいたい。各世代からの声を聞いてほしい。
- ・地域にあった公共施設が一極集中されるのでは、今まで町政に協力してきたものが、無くなったようで虚しい。今まであったものくらい残してほしい。

- ・新しい建物を作るのではなく、空き地・空き家を利用して、子供と老人が楽しめる場所づくりをしてほしい。
- ・地域の活性化・永年企業の誘致。
- ・飯豊町で暮らしたい人をインターネットなどで集めてほしい。
- ・議会と関係があるのかわからないが、燃えるゴミ・生ゴミの回収を夏だけ週3回にしてもらえないか。臭いと小バエがすごいから。
- ・議員の地区ごとのバランスを考えれば、将来条例をつくって各地区ごとの小選挙区で行うのも一考ではないか。中津川・豊川2名、小白川・椿2名、東部2名、黒沢萩生・中4名。
- ・長井の観光協会は、あやめ公園や黒獅子まつりなどのイベントに、かなり力を入れているように思う。飯豊の観光も、中津川・山居集落・展望台・ゆり園のイベントを増やし、もっともっと集客を集めるような運動が必要ではないでしょうか。ゆり園は毎年、年を追うことに観光バスの減少があると思う。ゆり園+αのアイデアが必要です。短い期間ですので、せめて土・日曜日のイベントに力を入れてください。
- ・めざみの里まつりに思う。中津川の若い人達がつくったスノーエッグが、大勢の人々が集まり大いに楽しませています。中津川も人口が減り、若い人が祭りをするには大変になりました。めざみの里祭りには、いつも踊りに行きますが、あまり人が集まらず、踊りをしている私達がアホみたいなきももあります。町としても、スノーエッグのような、他にはない祭りを大事にしていくべきと考えます。
- ・若い世代によく「頑張ってくれ」とおっしゃいますが、今の議員さんは、何を頑張っているのでしょうか。それをどう情報発信していますか？興味のない人に興味を持ってもらうための工夫はしていますか？
- ・介護保険が高いので、若い人達が町外に転出する人が出てくるのでは？ 心配しています。
- ・職員ですが、一般常識が欠けているように思います。挨拶もできない職員がいるそうです。教育してほしい。
- ・子供医療費の無料を実現していただき本当にありがとうございました。老人介護のほうも充実していると思います。青年層特に、高校卒業した子の働く会社があれば居住し続けることができると思うので会社がほしいです。役場に行くのに坂を登らなければいけないのは年寄りが大変。高島町のような特産品を生かした町づくり、障害者（児）への理解、議員ばかりでなく住民一人一人理解する人が増えて行くように。障害者（児）の特性の理解が進むように。「あーす」とかで講演会や交流会。
- ・めざみの里観光物産館などに車いすを設置してほしい。
- ・飯豊は有名な観光地がある訳でなく、盛り上げるのは難しいところだと思いますが、「何もない」から良いと思います。都会の人は癒やされると思います。素晴らしい自然を守り、誇りに思う気持ちが町民にあれば、よい方向に行くのではと思います。議会でこのような道に導いていただきたい。

主な意見（抜粋）と問. 22は、原文のとおり記載させていただきました。

飯豊町議会活性化調査検討特別委員会 調査部会 (まとめ)

調査部会は、11回開催し、議会に関する町民アンケートの項目、方法、内容を検討しました。部落長さんに協力をお願いし、アンケートを全世帯に配付し、郵送回収させていただき、1,101人から回答をいただきました。

そのアンケート結果から、全体的に議会への関心度の低さや、議会の取り組みが浸透していないことを知ることができました。今後は、いかに町民の皆様が議会に関心を持っていただけるかを考え、行動していくことが大切であると実感しました。

また、「議会だより」を「いつも読む」、「ときどき読む」を合わせて、8割以上の方々に読んでいただき、議会の一番の情報源であることを再確認できたことは、調査の実施による状況把握の一つの効果であったと考えています。さらには、「議会だより」に関する感想なども多く頂き、その意見を踏まえ、より一層内容の充実に努めていきます。

議会改革については、今回のようなアンケートの実施による意向調査や、意見交換会・議会報告会を開催していくことが町民の求めているものと再認識しました。

「議員数・議員報酬の検討」や「議員のなり手不足」などについても、まだまだ町民のご意見をお聞きして検討を重ねる必要があると感じました。

今回のアンケート調査によって、今後の町議会の課題も見ることができたことは、有意義な議会活動でありました。

アンケートにご協力いただきました町民の皆様方に深く感謝申し上げ、併せて町民の皆様が親しまれる議会活動・議会運営を展開すべきと考えます。

以上、調査部会の報告とします。